



「鏡面シリーズ 猫と遊ぶ娘」(前期)

描と歌舞伎と
千や千千や千娘

う
ち
わ
え

団扇絵

国芳の

Fan Pictures
by Kuniyoshi
— Cats, Kabuki Actors
and Girls

2024
6.1土 > 7.28日

【前期】6月1日(土)～6月25日(火)
【後期】6月29日(土)～7月28日(日)
※前後期で全点展示替え

【開館時間】10時30分～17時30分(入館17時まで)
【休館日】毎週月曜日(7/15は開館)、6/26～6/28(展示替えのため)、7/16
【入館料】一般1000円 大高生700円 中学生(15歳)以下無料
【公式X(旧twitter)アカウント】@ukiyoetata

太田記念美術館
ŌTA MEMORIAL MUSEUM OF ART

<http://www.ukiyo-e-ota-muse.jp/>



予告なく予定を変更することがあります。また、入場および観覧に際し、制限・制約やご協力をお願いする場合がございます。ご来館の前に、当館ウェブサイトやハローダイヤルにて最新情報をご確認ください。

世界初!

団扇絵だけの国芳展



「猫の曲まり」(後期)



「絵鏡台合か身 猫」(前期)



「春の虹蛭」(後期)



「絵鏡台合か身 しし・みづく・はんにやあめん」(前期)



「船舟慶」(後期)



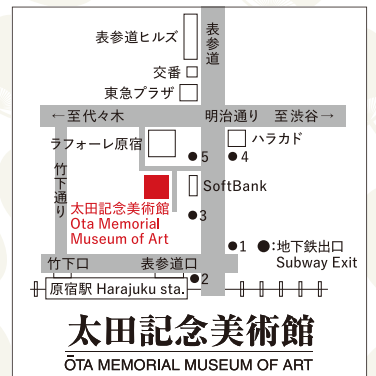
「夕寿豆美」(前期)

協力:ギャラリー紅屋

見てヨシ、推してヨシ、あおいでヨシ!

歌川国芳(1797~1861)は多彩なジャンルで活躍した浮世絵師です。本展はその国芳の、団扇絵と扇だけをご覧いただく世界で初めての展覧会です。

団扇は、江戸っ子の夏の必需品であっただけでなく、デザインを楽しむお洒落のアイテムでもあり、また歌舞伎ファンには大事な押し活グッズでもありました。これを作るための浮世絵である団扇絵には人気絵師も筆をふるい、国芳も猫の戯画や役者などを描いています。なかでも女性をとらえた作品は数多く、団扇でははつらつとした国芳美人が好まれたようです。展示総数は初紹介作品を含めて約220点。目にも楽しく涼やかな国芳の団扇絵の世界を存分にお楽しみください。



【アクセス】東京都渋谷区神宮前1-10-10 [JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分 東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分]

【問合せ】050-5541-8600(ハローダイヤル)

リピーター割引 会期中2回目以降ご鑑賞の方は半券のご提示にて200円割引(他の割引との併用はできません)

学芸員によるスライド・トーク 展覧会の見どころを担当学芸員が解説します。

■2024年6月11日(火)、19日(火)、7月12日(金)、17日(金)、23日(火) 各回午前11時~(約30分) 定員50名

当日10時30分より美術館受付にて整理券を配布します。聴講には本展の当日入場券と整理券が必要です。整理券は展覧会にご入場の方1名につき1枚まで。